

漁海況月報

令和5年1月31日
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1 海況

○ 黒潮流路

1月26日の人工衛星画像によると、黒潮は室戸岬沖の北緯32度付近から大王崎沖北緯30度付近まで南下した後、御前崎沖北緯34度付近まで北上し、東へ流れている。現在の流路は黒潮流軸の南端が北緯32度以南にあり、かつ御前崎正南を北緯33度以北で通過するAs型流路となっている。

○ 渥美外海の状況

現在、遠州灘沖北緯34度付近へ北上する黒潮本流の影響により、遠州灘沖は高温傾向が続いている。

○ 予想

現在、流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡（名瀬一西之表）の潮位差は依然低い水準で推移しており、大蛇行離岸流路が継続すると推測される。気象庁の黒潮予報およびFRA-ROMSの海況予測によると、今後も黒潮の流路はAs型となる予報である。

(参考：潮位データを用いた黒潮モニタリング；<https://ovd.aori.u-tokyo.ac.jp/tides/time2.html>)

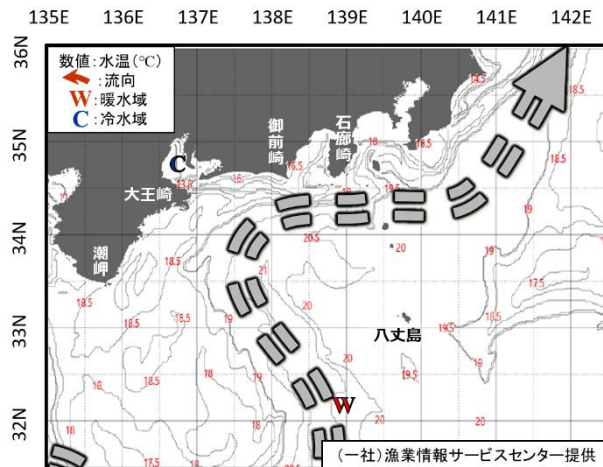


図1 海況の現況[2023年1月26日]

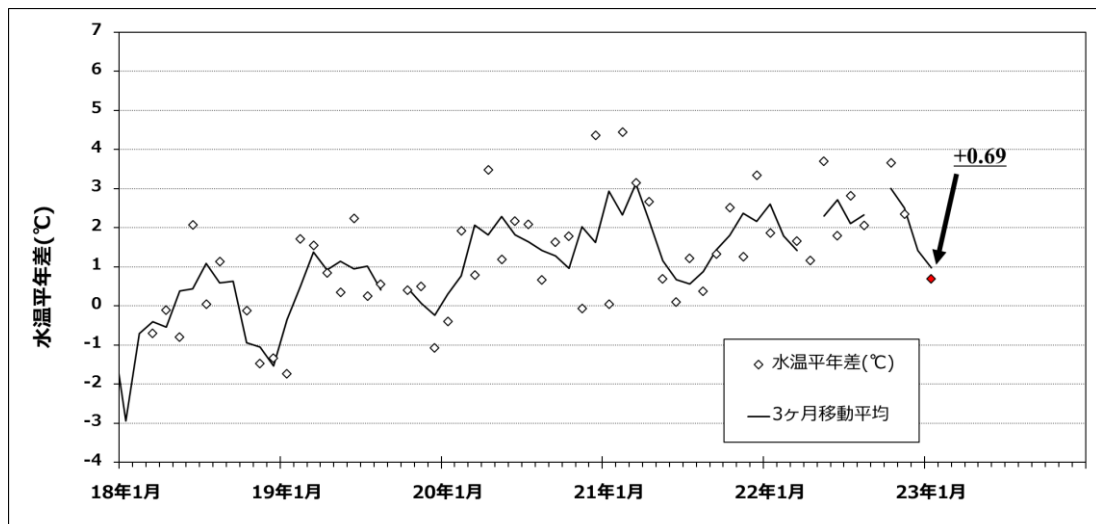


図2 沖合域の水温 (A4点、A12点、A19点の水深200mの平均)

2 イワシ類 ～ 2022年のまとめ～

(1) シラス

2022年の年間出漁日数(10統以上)は延べ47日で、漁獲量(3,232トン)は平年(過去10年平均:6,725トン)を大きく下回った(表9)。

昨年と比べ、春季のマシラス来遊量が少なく、来遊も1ヶ月程遅れ、マシラス漁獲量のピークは5月(昨年は4月)となった。年間を通して漁場は渥美外海主体で、伊勢湾内にはほとんど形成されず、6月中旬から8月中旬、8月下旬から9月下旬及び10月下旬から11月下旬の期間は、渥美外海でも漁場ができず、12月によろやく内湾にも漁場が形成された(図3)。

春季のマシラスの不漁要因は、親魚が西日本まで回遊せず、産卵量が少なかったこと、黒潮により遠州灘沖にシラスが留まりにくい流況となったことが考えられた(水試ニュース549号<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/416596.pdf>)。

夏季以降は、6月を除き、カタクチイワシ卵は平年以上採集されたが、漁場は形成されなかった。ボンゴネット調査(毎月1回実施)で採集された仔魚の大きさを過去と比較すると、2022年は2016～2021年計に比べて大型個体がみられない状況が続いたことから、漁獲サイズに至るまでの生き残り状況が悪かったことが不漁の要因として考えられた

(漁海況月報令和4年11月30日号<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/440232.pdf>)。

伊勢湾のカタクチイワシ卵採集数は9,269粒(平年の約1.5倍)で昨年に引き続き非常に多かった(表8)。これは、ぱっち網が7月19日まで自主休漁し、カタクチイワシの親魚を保護した資源管理の効果によるものと考えられた。

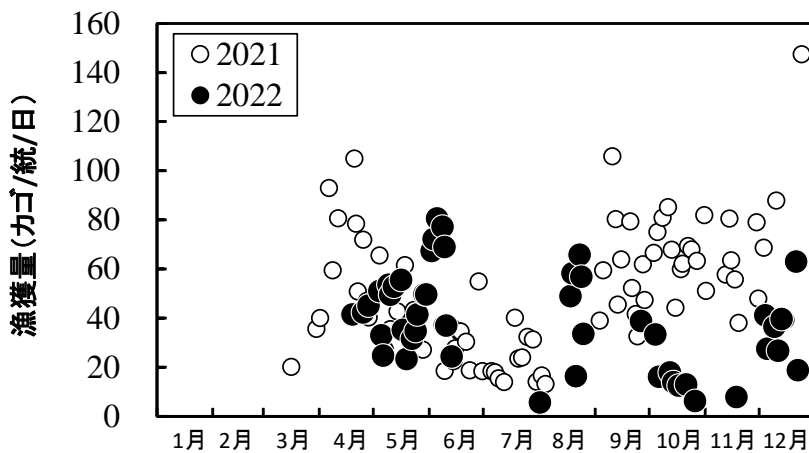


図3 しらす操業船のCPUE

表1 カタクチシラス体長組成

全長範囲(cm)	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
～ 1.5		9	5			11		4		17
1.51 ～ 1.7		11	31			22		1		6
1.71 ～ 1.9		28	63			33		12		12
1.91 ～ 2.1		29	84	11		58		42		42
2.11 ～ 2.3		22	98	25		92	6	92		71
2.31 ～ 2.5		17	101	53		75	17	143		76
2.51 ～ 2.7	1	16	99	56		60	37	135		63
2.71 ～ 2.9		15	93	58		37	56	109		65
2.91 ～ 3.1		36	79	27		33	58	70		50
3.11 ～ 3.3		34	67	14		16	36	49		14
3.31 ～ 3.5		47	59	5		10	26	24		14
3.51 ～ 3.7		43	68	1		3	12	17		9
3.71 ～ 3.9		42	53				2	2		2
3.91 ～ 4.1		29	32							4
4.11 ～ 4.3	3	24	15							2
4.31 ～	53	59	3							3

(2) マイワシ

ぱっち網の操業は7月20日から始まり、2022年の年間出漁日数は延べ51日で、漁獲量(2,690トン)は平年(11,665トン)を大きく下回った(表11)。中型まき網の出漁はなかった。

今期の春季のマシラス漁獲量(54トン)は少なく、マイワシの推定漁獲量(2,276トン)も少ないことが予測されたため、ぱっち網漁業者は、魚体の大型化の取組を昨年よりも強化し、例年大きいマイワシが漁獲される三河湾を8月21日(2021年は7月4日)まで自主禁漁とした(図5)。その結果、三河湾の解禁直後のCPUE(38トン/続/日)は年間で最高となり、その時の体長は過去の同時期に比べても最大級となった(図4)。しかし、来遊尾数が少ないため長続きせず、11日後の9月2日には0.1トン/続/日まで減少したため、9月は三河湾での操業を止め、伊勢湾でカタクチイワシを主体的に漁獲した。10月になると再度三河湾で操業を開始し、9月中に成長したマイワシを漁獲できたため、CPUEは14トン/続/日まで増加し、10月の漁獲量は8月に次いで多くなった。なお、最終的な漁獲量(2,690トン)は推定漁獲量に近い値となった。

操業が始まった8月の体長組成は、伊勢湾(11~12cm)と三河湾(13~14cm)からなる二峰型であったが、その後は月ごとに成長し、両湾の体長差はなくなっていった。小型群の加入はなく、同じ群れを漁獲対象としていたと考えられた(表2)。

2022年は、過去に例がない程カタボシイワシが漁獲(9月240トン、10月100トン)され、マイワシとの体長差がないため選別が困難であった(表3)。

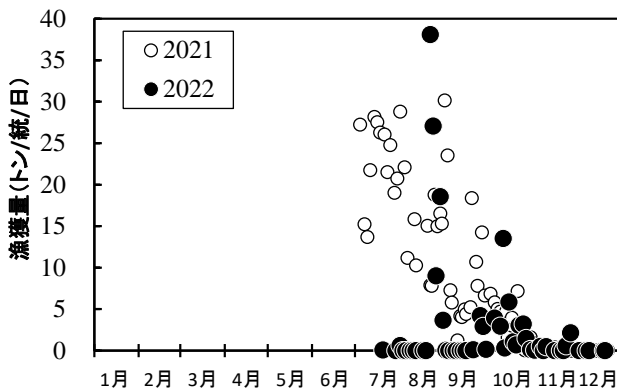


図4 マイワシのCPUE

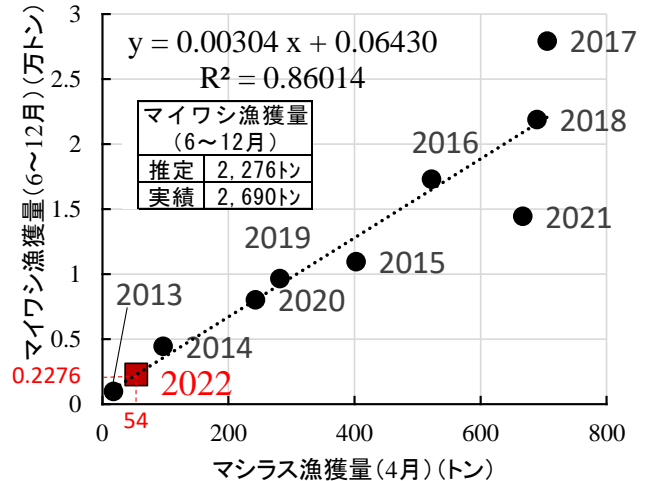


図5 マシラス漁獲量とのマイワシ漁獲量(6~12月)の関係

表2 マイワシの体長組成 (伊勢・三河湾)

全長範囲(cm)	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
~ 4.0											
4.01 ~ 5.0											
5.01 ~ 6.0											
6.01 ~ 7.0											
7.01 ~ 8.0							1				
8.01 ~ 9.0					9						
9.01 ~ 10.0					27	13	11				
10.01 ~ 11.0					41	150	52				
11.01 ~ 12.0					2	37	125				
12.01 ~ 13.0	3						40	2	1		
13.01 ~ 14.0	37						182	78	13	3	
14.01 ~ 15.0	13						77	59	293	75	
15.01 ~ 16.0	2						1	5	193	113	
16.01 ~ 17.0	3								4	20	
17.01 ~ 18.0	13										
18.01 ~ 19.0	13										
19.01 ~ 20.0	11										
20.01 ~	5										

表3 カタボシイワシの体長組成

全長範囲(cm)	8月	9月	10月	11月	12月
~ 4.0					
4.01 ~ 5.0					
5.01 ~ 6.0					
6.01 ~ 7.0					
7.01 ~ 8.0					
8.01 ~ 9.0	11				
9.01 ~ 10.0	4	1			
10.01 ~ 11.0	1				
11.01 ~ 12.0		41			
12.01 ~ 13.0		193	1		
13.01 ~ 14.0		59	5		2
14.01 ~ 15.0		122	62		2
15.01 ~ 16.0		20	47		32
16.01 ~ 17.0					26
17.01 ~ 18.0					
18.01 ~ 19.0					
19.01 ~ 20.0					
20.01 ~					

3 イカナゴ

2022年は7、10月に空釣り調査を行ったが、イカナゴは採集されなかった（表5）。

ボンゴネットによる仔魚調査を2022年12月20日、2023年1月6日に湾口部で、2023年1月23,26,27日に伊勢湾全域で行ったが採集されなかった（表6）。

次回は、ボンゴネット調査（2月中旬）とカイトネットによる稚魚調査（2月上旬、下旬）を予定。

表5 夏眠魚採集数

	イカナゴ夏眠魚 採集尾数（尾/km）									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
2008	77	45	49			121		68	30	
2009		435	438				740		501	
2010		792	3,306				1,333		1,589	
2011		964	2,910				425		518	
2012	230	378		1,721			1,869		1,324	
2013	462	1,268	2,597						1,690	
2014	146	1,670	(659)* ¹	110			49		116	
2015	119 ²	61	132		47	1	4	7	5	
2016	0.5	86 ³	41	51			3	5	3	
2017	2.3	15	12	6	0.9			0.5	0.5	
2018	0	0.5	1.1	0				0.6	0	
2019		0.6		0	0	0		0	0	
2020		0	0 ⁴	0	0			0	0	
2021			0	0	0				0	
2022				0				0		

*1 2014年6月は三重水研の調査結果

*2 2015年4月の調査日は、5月1日

*3 2016年5月9日の採集では28尾、5月24日の採集では86尾。

*4 2020年6月5日の調査は定点の他8地点、合計13地点で実施。

表6 ボンゴネット調査結果

漁期(年)	ボンゴネット 稚仔魚採取数(尾/m ²)					解禁日	加入資源 尾数 (億尾)	漁獲量 (愛知、トン)
	12月下旬 (湾口部)	1月上旬 (伊良湖前)	1月中旬 (伊勢湾平均)	1月下旬 (全湾平均)	2月上旬 (伊勢湾平均)			
2009	0	1 未満	8	3	1	3/8	44	1,000
2010	0	643	236	216	310	3/3	504	10,500
2011	0	78	195	62	30	3/11	283	6,200
2012	0	141	118	72	25	3/8	321.2	7,700
2013	0 ~ 32	233	71	21	27	2/28	302	4,100
2014	0	815	26	70	29	3/2	292	5,508
2015	0	57	40	1	3	3/6	89	1,978
2016	0	0	0	0.07	0.04	禁漁	-	-
2017	0	0	0.02	0	0.02	禁漁	-	-
2018	0	0	0	0	0	禁漁	-	-
2019	0	0	0	0	0	禁漁	-	-
2020	0	0	0	0	0※	禁漁	-	-
2021	0	0	0	0	0※	禁漁	-	-
2022	0	0	0	0	0※	禁漁	-	-
2023	0	0	0	0	0			

※2020～2022年は2月中旬の愛知県調査結果(伊勢湾北部～湾口)
(2023年漁期…2022年12月～2023年3月を示す。)

表7 渥美外海のカタクチイワシ卵採集数 (15点合計)

(個)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	0	2	703	15	1	112	126	12	5	148	0	5	1,129
2016	0	0	0	50	27	24	93	10	2	1	0	0	207
2017	欠測	0	2	208	14	147	178	11	4	0	0	0	564
2018	0	0	72	102	25	144	154	0	欠測	0	0	0	497
2019	0	0	62	39	57	29	97	58	54	0	0	0	396
2020	0	0	0	1	0	116	30	89	11	13	3	0	263
2021	0	0	24	46	25	186	88	25	17	0	0	0	411
2022	0	欠測	23	1	203	212	247	351	5	0	0	0	1,042
10年平均	0	0	122	177	218	153	106	56	43	22	1	1	883

表8 伊勢湾のカタクチイワシ卵採集数 (15点合計)

(個)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	-	-	-	1	191	160	30	1,291	61	132	768	-	2,634
2016	-	-	-	0	1,329	1,236	748	1,508	132	248	108	-	5,309
2017	-	-	-	0	17	29	215	494	2	1	1	-	759
2018	-	-	-	0	438	65	360	70	欠測	41	117	-	1,091
2019	-	-	-	0	70	2,518	2,593	627	52	37	118	-	6,015
2020	-	-	-	506	6,126	4,561	1,442	4,698	735	211	6	-	18,285
2021	-	-	-	2,985	1,227	2,258	1,765	2,607	746	212	25	-	11,825
2022	-	-	-	559	1,624	756	2,522	2,575	435	462	336	-	9,269
10年平均	-	-	-	351	1,044	1,338	1,460	1,426	345	121	144	-	6,194

表9 シラス類漁獲量

(トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	0	0	6	980	3,255	1,466	40	166	164	1,002	1,886	938	9,903
2016	11	0	94	1,210	691	33	628	136	134	1,683	1,871	636	7,127
2017	5	0	0	885	2,247	0	11	38	31	172	85	104	3,579
2018	0	0	97	957	1,917	9	66	379	553	797	295	660	5,730
2019	0	7	389	676	1,472	1,349	884	1,119	1,514	45	9	302	7,766
2020	0	10	219	428	658	1,629	590	1,933	131	493	148	492	6,731
2021	0	2	101	1,295	631	676	392	48	1,098	1,397	743	317	6,700
2022	0	1	3	253	1,150	831	9	407	82	158	4	335	3,232
10年平均	3	2	91	786	1,581	689	426	617	622	845	648	414	6,725

表10 カタクチイワシ漁獲量

(トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	231	226	0	131	0	286	4,332	2,952	3,191	800	1,262	361	13,772
2016	85	0	14	0	851	5,944	6,352	1,705	2,481	351	504	1,146	19,434
2017	15	21	62	23	194	3,039	2,659	1,725	1,038	340	583	346	10,045
2018	0.3	7	0	12	33	2,795	1,654	945	1,294	149	13	40	6,943
2019	172	38	32	2	0	1,339	4,128	1,692	1,432	2,564	803	515	12,717
2020	4	35	27	0	0	0	2,698	2,115	1,620	2,924	1,920	2,117	13,462
2021	302	48	0	0	0	0	691	1,062	719	766	1,674	1,593	6,853
2022	505	0	0	0	0	0	532	2,453	3,462	1,118	1,055	1,044	10,169
10年平均	130	37	14	108	362	2,074	3,452	2,502	1,939	1,207	1,239	942	14,006

表11 マイワシ漁獲量

(トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	76	78	0	0	0	4	1,010	2,100	2,408	2,684	1,413	574	10,348
2016	74	0	0	0	44	551	1,255	5,255	4,216	3,994	1,379	672	17,440
2017	0	0	0	0	181	1,380	6,258	5,153	4,497	5,445	3,311	1,888	28,114
2018	61	0	0	0	0	2,605	5,555	4,999	4,701	2,944	1,103	2	21,970
2019	210	40	4	0	0	1,311	2,634	3,886	1,417	152	256	7	9,917
2020	0	0	0	0	0	0	3,502	1,995	2,351	174	15	5	8,042
2021	0	0	0	0	0	0	6,128	4,125	3,476	703	35	5	14,471
2022	0	0	0	0	0	0	2	1,666	179	791	52	0	2,690
10年平均	42	12	0	0	23	604	2,677	3,014	2,491	1,677	793	333	11,665